

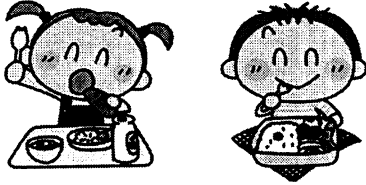
富山市教育委員会と富山市P T A連絡協議会役員との懇談会

第2分科会資料

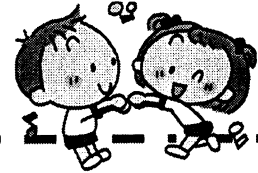
日 時 平成29年10月25日(水) 午後6時15分
会 場 C i C 3階 学習室1～3、学習室5

学校給食の目標

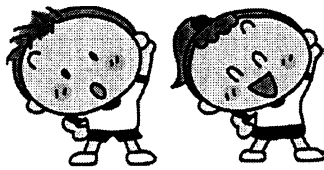
1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。



2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。



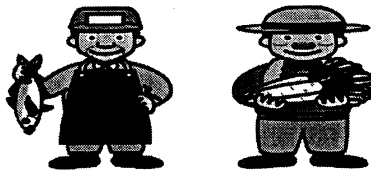
3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。



4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。



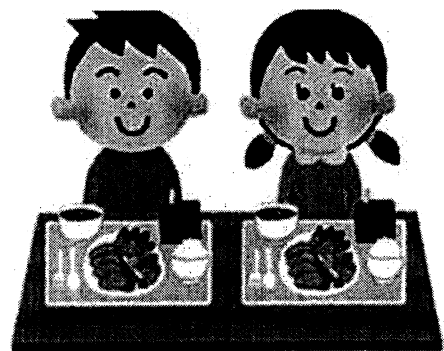
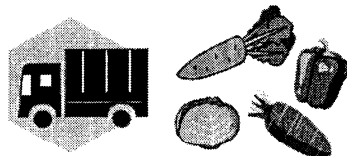
5 食生活が食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。



6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。



7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。





行事食


伝統的な食文化の体験と郷土への関心を深めるため、季節に応じた行事食を実施する。

- 4月 入学祝い
- 5月 こどもの日
- 7月 七夕
- 9月 お月見
- 12月 冬至
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り
- 卒業祝い



意識強化

健康によい食事の習慣や自然の恵みの大切さと感謝の気持ちを育てる。

- 6月 かみかみ月間 
- 11月 富山県食育推進月間
(学校給食とやまの日)
- 1月 給食週間
- 年5回 きときとランチ
(5,7,10,12,2月)

選択献立

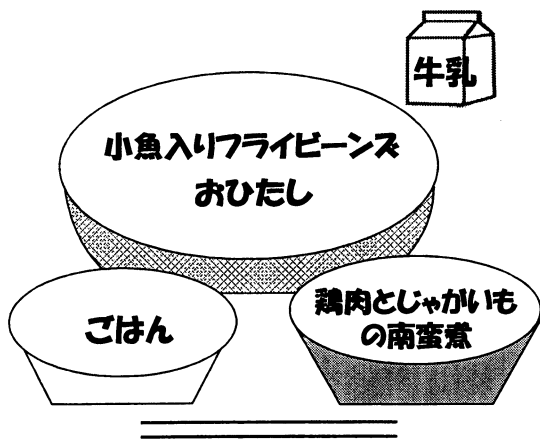
自分の健康を考えて献立を選択できる自己管理能力を養う。

- 年間4回実施
(7、10、12、2月)



献立例

摂取基準(3年生)



	基準値	摂取量
エネルギー(kcal)	640	632
たんぱく質(g)	24.0	26.9
脂質(g)	21.3	17.8
カルシウム(mg)	350	404
鉄(mg)	3.00	3.81
ビタミンA(μg)	170	213
ビタミンB1(mg)	0.40	0.35
ビタミンB2(mg)	0.40	0.57
ビタミンC(mg)	20	32
食物繊維(g)	5.0	5.4
塩分(g)	2.50	1.82

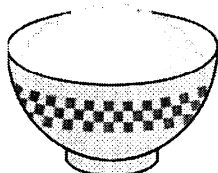
赤の食品 からだをつくる	緑の食品 からだの調子を整える	黄の食品 エネルギーのもとになる
とりにく うすらたまご だいず かたくちいわし ぎゅうにゅう	にんじん いんげん チンゲンサイ たけのこ だいこん もやし	ごはん こんにゃく じゃがいも さとう でんぷん あぶら アーモンド

富山市の学校給食は…？

ごはん

週3.5回

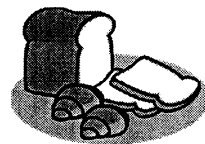
富山県産
こしひかりを
使っています。



パン

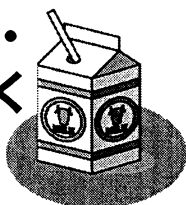
週1.5回

不足しがちな
ビタミンB₁・B₂が
強化されています。



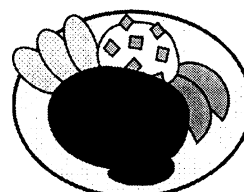
牛乳

カルシウム・ビタミン類・
たんぱく質がバランスよく
含まれています。



副食

揚げ物
炒め物
煮物

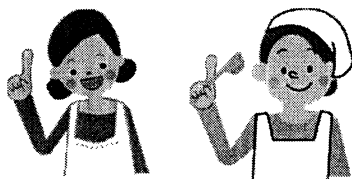


蒸し物
汁物

献立ができるまで

① 富山市の給食献立は、栄養、衛生、嗜好に配慮し、献立を作成します。

栄養教諭・
学校栄養職員



わたしたちが献立を
考えています！

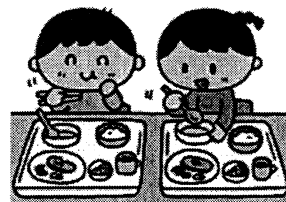
② 献立作成委員会が行われます。



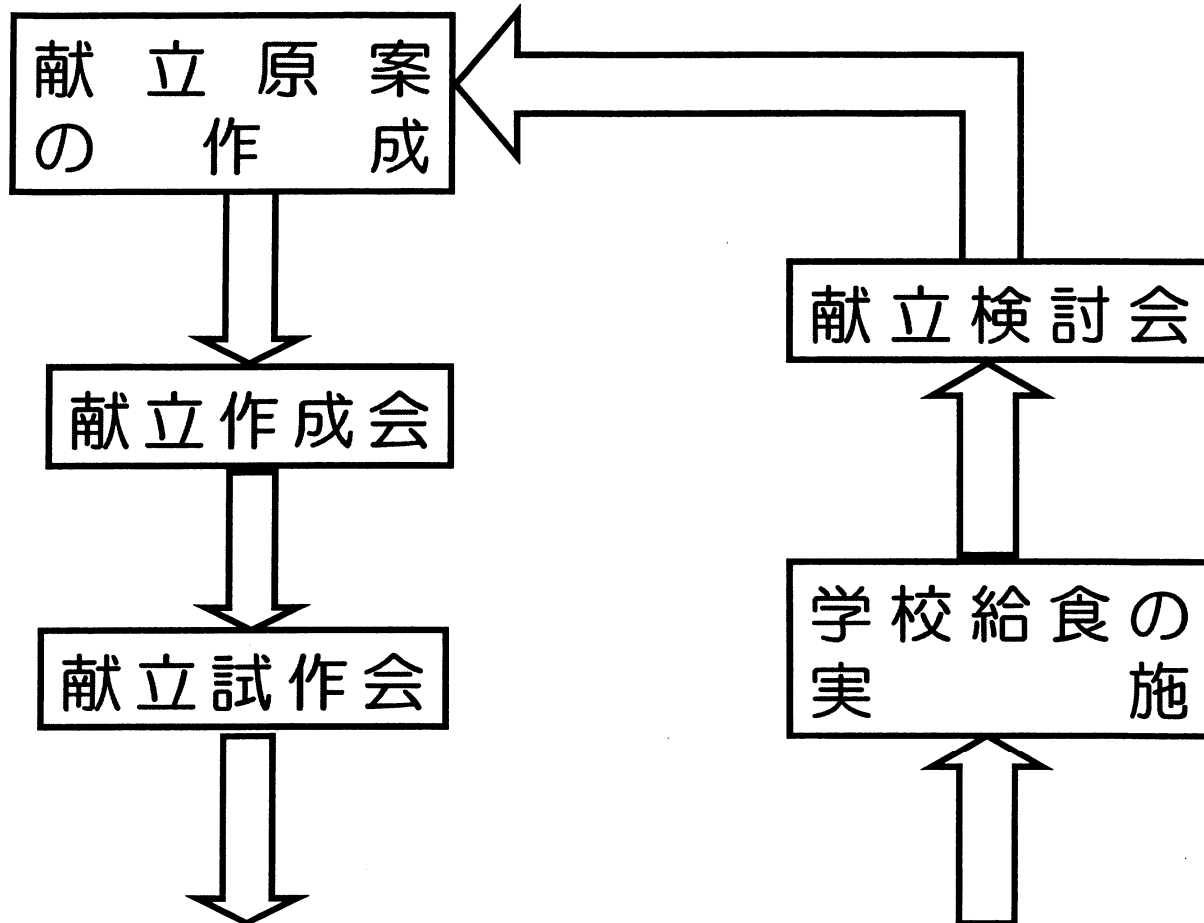
新しいメニューを調理し、味や盛りつけ量の確認を行い、調理員さんが作りやすいように、できあがりの料理の写真を撮り、レシピを分かりやすく作ります。

③ 献立が決定します。

地産地消の推進を図り、子どもたちに喜ばれ、魅力ある学校給食の
提供に努めています。



献立作成



献立作成委員会

- 献立作成委員会の会長
(校長の代表)
- 給食主任の代表
- 保護者の代表
- 富山市教育委員会
- 富山市学校給食会
- センター所長
- 調理員、栄養職員

献立作成委員会は
富山市教育委員会が設置

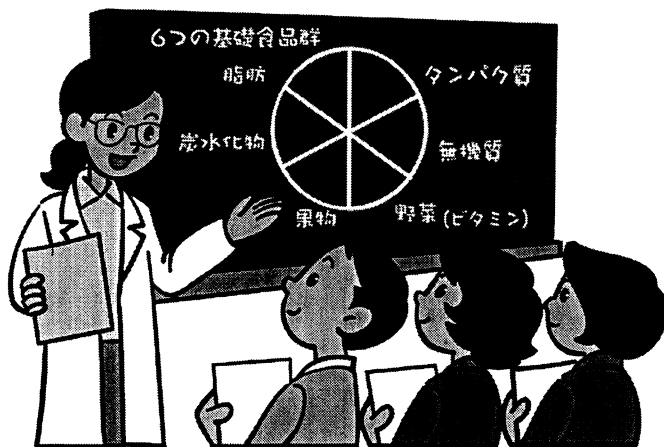
食育について

・ 食育の推進

子どもたちが健全な心と身体を培うためには、「食」が重要です。

食育については、家庭科の指導を中心として日常の食事を大切にする心や学校給食を通じた望ましい食習慣の形成に努めています。また、栄養士による学校訪問での指導、保護者の皆様に対しての給食だより等を通じた啓発を行っています。

児童生徒の自覚を促すとともに、保護者の皆様にも食の大切さについて理解を深めていただきながら、今後も食育を推進していく必要があります。



めざましスイッチの入る

朝ごはんを食べよう!

①脳のめざまし

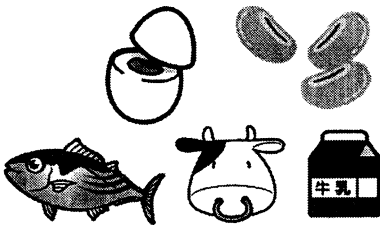
②からだのめざまし

③腸のめざまし

②からだのめざまし
＝体温をあげる

睡眠中に下がった体温を上昇させ、体を目覚めさせます。

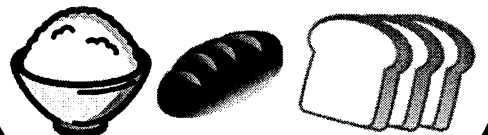
*肉・さかな・牛乳
・大豆製品など



①脳のめざまし
＝脳の栄養補給

ご飯やパンに含まれる炭水化物は、脳の活動に欠かせない栄養源です。

*ご飯・パン・麺



③腸のめざまし＝便通がよくなる

朝起きて胃に食べものが入ると、腸が動き始め、便意をもよおします。朝食後の排便のリズムを身につけましょう。

*野菜・果物・きのこ

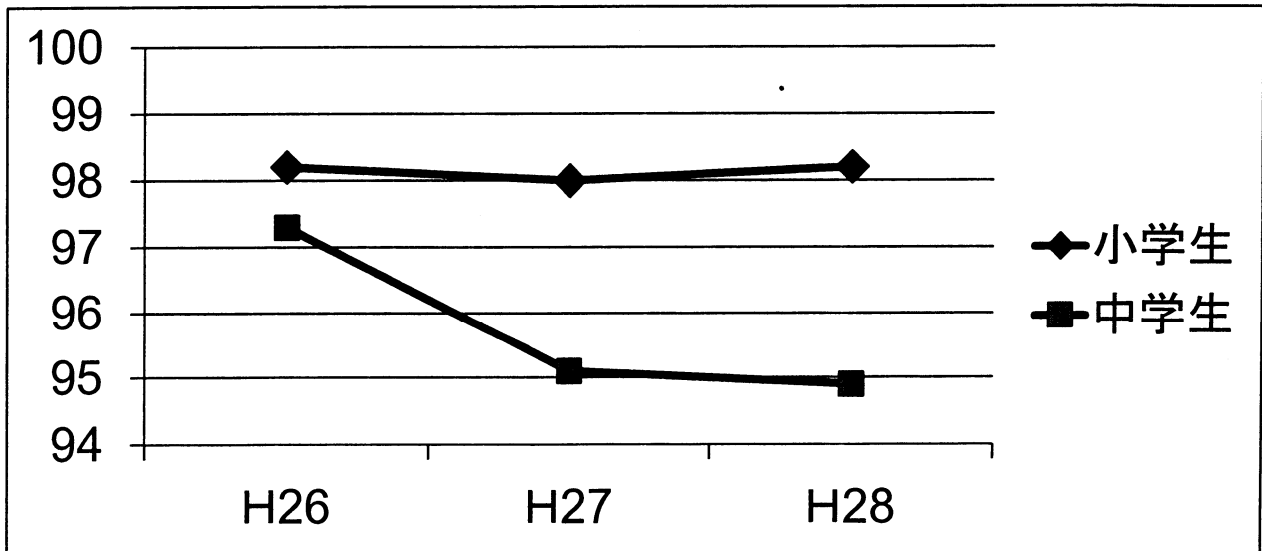


朝食調査の結果

児童生徒の家庭における朝食の実態を把握し、食に関する指導の参考にするとともに、望ましい食習慣の形成に役立てるため、朝食に関する調査を実施。

○朝食をとる子どもの割合

	目標値 (H28年度)	H26年度	H27年度	H28年度
小学生	100%	98.2%	98.0%	98.2%
中学生	98%	97.3%	95.1%	94.9%



小児生活習慣病予防対策事業

- ・生活習慣病を早期に発見するため、検診を行い、医療機関への受診を勧奨するとともに、生活習慣の改善指導を行うことにより、健康な児童生徒の増加を図る。
- ・小学校4年生、中学校1年生を対象にコレステロール値の測定などを行う検診（すこやか検診）を実施し、要医療と判定された児童生徒に対して医療機関への受診勧奨を実施する。
- ・すこやか検診において、要医療・経過観察・生活指導と判定された児童生徒と保護者に対し、専門医、栄養士による個別相談指導や運動指導員による運動指導などの（すこやか教室）を実施する。また、学校においては、保健指導や食指導を活用し、正しい生活習慣を身に付けさせることに取り組む。

すこやか教室

<講話>



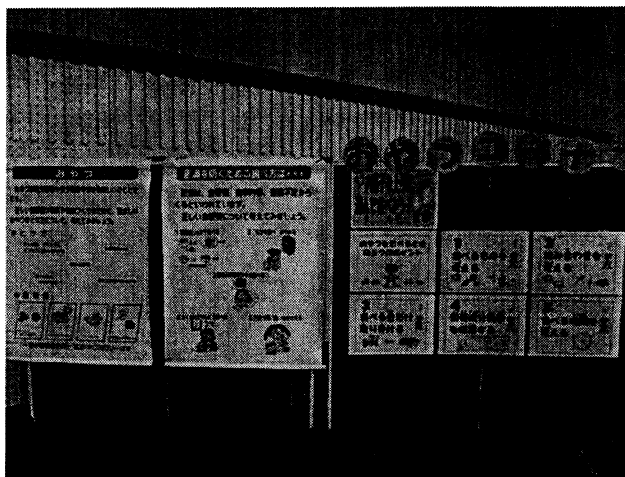
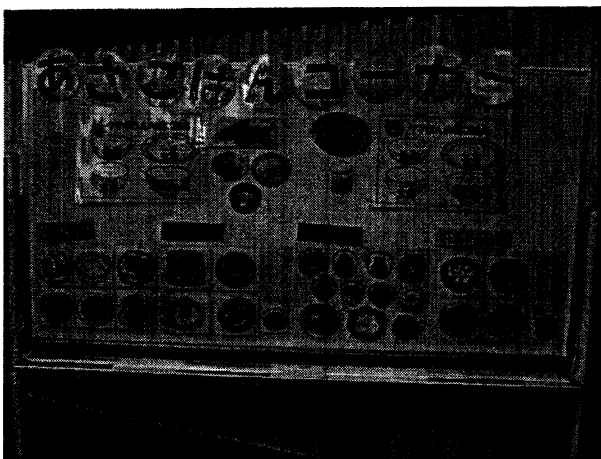
<運動指導>



<キッズチャレンジ (集団指導)>



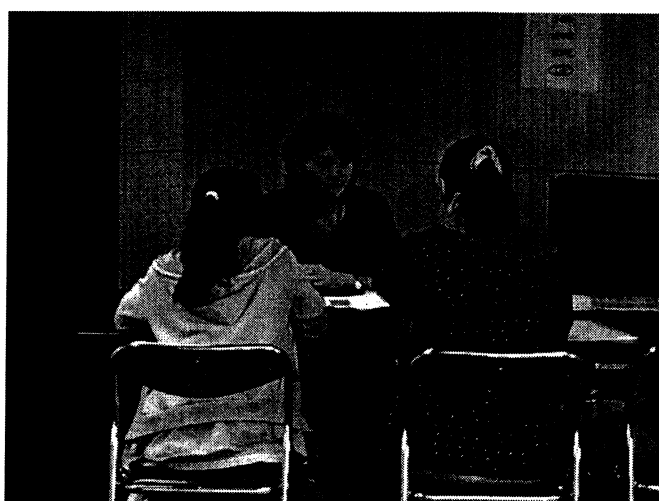
<展示風景>



< 専門医相談 >



< 食生活相談 >

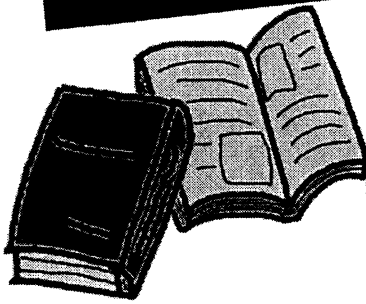


これからも、子どもの健やかな成長発達のために、また、生活習慣病等への対応など生涯にわたる健康な生活を築く上でも、食に関する正しい知識と実践力を子どもに身に付けさせるよう、努めてまいります。

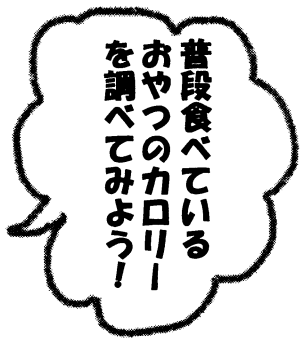
キッズチャレンジ



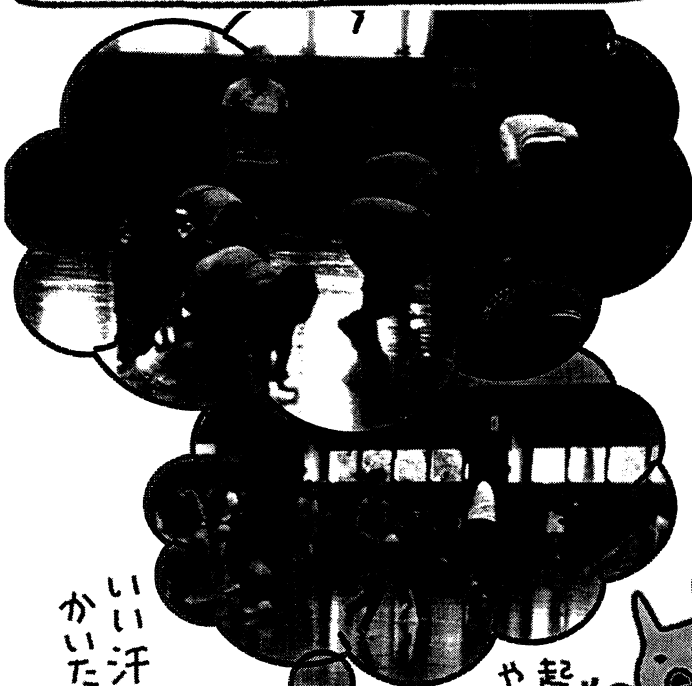
おやつコーナー



BOOKコーナー



体育指導員による運動指導



いい汗
かいたわー

起きて
やらせたか

医師による健康相談



栄養士による食生活相談

